

マルセイニュース 12月号

発行日 2018/12/21

株式会社 マルセイ
浦河町東町うしお1丁目

〒057-0005 Ⅱ0146-22-5123



おめでとうございます！創業100周年を迎えた大黒座の三上雅弘さん、佳寿子さんご夫妻と93才の今も店番をしている雪子さんご家族です。記念上映作品を観に、全道各地から足を運ばれているお客様の姿を見かけます。1月1日からは、名作「禁じられた遊び」が上映されます。ぜひ、大黒座のスクリーンをご覧ください！



「森の六畳書房」の店番こと、櫻井けいさんと廣志さんご夫妻です。自宅居間での営業は毎週月曜日ですが、ほかの曜日にも本屋の仕事に時間を費やされています。うれしそうに絵本を手にする子どもたちのためにも浦河から本屋をなくしたくないと、応援してくれる人たちと一緒に町の本屋を育てています。



創業は70年以上前から？浦河町の老舗です。二本柳豊さん・富美子さんご夫妻が経営する「レストランやなぎ」さん。中華担当の田中勝義さんとホール担当の文珠四郎恵子さんと一緒にステキな笑顔です。ご長男の二本柳真さんも料理人の道へ。今年4月からフレンチレストラン「ミクニ サッポロ」の料理長として活躍されています。

笑う門には福来る 2019年も笑顔で迎えましょう！



『NPO法人ピスカリ』を運営している4人の女性たちです。代表を務める江刺尚美さんは乗馬インストラクター、小島愛子さんと三浦理佳さんは理学療法士、川邊真歩さんは作業療法士と、全員が資格を有する彼女たちが独自の取り組みを続けている浦河の乗馬療育です。「もっと利用したい」と願っている人がたくさんいる「ホースセラピー」に、来年は益々の注目と応援をお願いします！



今年も浦河の夏イチゴは販売額の最高記録を更新。平成24年に新規就農したイチゴ農家の吉田隆さん・哉子さん・律舞(りずむ)くんご家族は音楽が大好き！だから、イチゴにも音楽を聴かせて育てているそうですよ〜。今年のイチゴハウスを片付けている合間も明るい笑顔です^^

(株)マルセイをよろしくお願い申し上げます 今年もご利用ありがとうございました！



おかげさまで、2018年の業務も大きな事故もなく終わることができそうです。今年一年、皆さまの日頃からのご利用に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。来年もスタッフ一同協力して頑張ります！



(株)マルセイ代表取締役社長 小山 直 (社長)

今年も一年間マルセイをご利用くださった誠にありがとうございます。

今年も一年間マルセイをご利用いただきありがとうございます。今年も一年間マルセイをご利用いただきありがとうございます。今年も一年間マルセイをご利用いただきありがとうございます。今年も一年間マルセイをご利用いただきありがとうございます。

8月から、昔マルセイで働いていた鈴木さんが入社しました。12年ぶりです。以降、懸案だった仕事も片付いていき、9月の地震の時にもベテランの技術力が加わったので大助かりでした。若い2人を強気にサポートしてくれているので本当に有り難いかぎりです。

個人的なことでは健康診断の結果を受け再検査。10月に白内障と緑内障があるらしきことが判明しました。年を取ると仕方ないとはいえ、だんだんカタが出てきますねえ。そして今日は12月17日です。今年も残りわずかですが、冬になっても家の片付けの仕事を依頼いただいています。会社としては有り難いことですが、毎月のように町から出て行かれる方や、お亡くなりになる方がいらつしやることを実感させられる日々です。さびしいですね。

さて、昨年も書きましたが、「うまい話には乗るな」というのが亡くなった先代が残した社訓です。今年一年、これを守ることでできたかと振り返り、来年も同じ心構えで望みたいと思います。一年間ありがとうございました。良い

経理・他担当 黒澤さゆり (ばわふる)



今年もマルセイをご利用いただきまして、ありがとうございます。お客様あつてのマルセイです。ご利用いただきましてお客様に感謝申し上げます。色々なお問い合わせをいただき出来る限りお応えしたいと思いつつも手が回らずお断りさせていただく事もありました。皆様の生活を少しでもサポート出来ればとチームマルセイ努力しております。どうぞ皆様、来年も宜しく願い申し上げます。若者と一緒に元気に頑張ります。

メンテナンス・灯油配送他 氣田恭平 (恭平くん)



マルセイに入社して、早いもので4年目を迎えました。お客様からは、いつもあたたかい言葉をかけていただきありがとうございます。今年も忙しかったからか、気が付いたらあつという間に12月になっていました。来年も今年のように充実した1年になるように頑張りたいと思います。

マルセイニュース編集担当 小山祥子 (マックス)



今年もマルセイをご利用いただきまして、ありがとうございます。毎月お届けさせていただいているマルセイニュースも、発行を始めて14年が過ぎました。私もお正月明けには還暦を迎えます。毎月の編集もいつまで続けられるかな...と思うことが増えました。でも、皆さまからの励ましの言葉に背中を押して頂きながら、来年も頑張りたいと思います。日々明るく奮闘するマルセイの応援を、今後とも宜しくお願いいたします。

灯油配送・メンテナンス他 氣田圭佑 (圭佑くん)



今年も皆さまに支えられて、無事に過ごすことができました。ありがとうございます。まだまだ至らないところもたくさんありますが、来年もよろしく願います。来年の目標としては、次こそ「設備士」の免許を取ります！



日高振興局産業振興部による「液化石油ガス販売所等 立入検査」がありました

12月10日。日高振興局産業振興部による立入検査が行われました。当社では久しぶりの「液化石油ガス販売所等立入検査」でした。

みんなで学ばせていただきました

立入検査の連絡を受けてから、事前調査に必要事項を記載して書類を提出。検査当日までの間に、様々な関係書類や器具等の整備状況を再確認しました。社長以外の若いスタッフにとっては初めての経験でした。今後の業務の参考になることでもあり、当日は立会が義務付けられている業務主任者の社長のほか、若者たちも同席させてもらいました。

検査後、お客様からいただいた書類に期日の記載がなかったことなどを含め、いくつかの不備を指摘されました。指摘された点についてはすぐに改善に取り組みを始めています。結果として、みんなで「液化石油ガス販売所」としての責任の重さなども一緒に学ばせていただく機会ともなり、大変有り難かったです。

何よりも、今回の担当者の方々のプロフェッショナルな仕事ぶりに私たちは感動させられました。消防署の定期的な立ち入り検査もそうです。こういう緊張する機会を好機と捉えて、これからも保安業務の整備や改善に活かしていきたいと思っています。



お客様に配布しているカレンダーは、書き込みが可能なこともあって毎年好評をいただいています。この周知を兼ねたカレンダーには、「液化石油法27条周知事項」がわかりやすく掲載されています。ぜひ、そのページもご覧いただきたいと思っています。

配布しているのは「周知」を兼ねたガス屋専用カレンダー

周知

LPガス販売事業者はお客様の安全を守るために保安業務を行うことが、液化石油ガス法に定められています。このためLPガス販売事業者は自ら認定を受けて行うか、認定を受けた業者に委託して、保安業務を必ず行つて実施しています。

その、法に定められている保安業務のひとつに、LPガスの使用上の注意などを記載したパンフレット等（周知文）を定期的に配布する「周知」の義務があります。

ティッシュと一緒に洗ってしまった！ そんな時も『ガス衣類乾燥機』が大活躍



ガス乾燥機の乾太くん

自分が使ってみて実感した『ガス衣類乾燥機』の便利さを度々お伝えしていますが、今回は本当に助かった事例をご紹介します。みなさんもきっと経験があることでしょう。そう、洗濯物の中にティッシュペーパーが！でも、ガス衣類乾燥機のおかげでバッチリOKでした！！



ガス衣類乾燥機の乾太くんには、乾燥中に衣類から出る糸くずや綿ぼこりなどをキャッチする「糸くずフィルター」が付いています。そのフィルターが、あの厄介なティッシュペーパーをみんな取り除いてくれました。ありがとうございます、ありがたや、ありがたや。(笑)

糸くずフィルターが取り除いてくれた！

きゃーっ！洗濯物と一緒にティッシュペーパーを洗ってしまった！この失敗が本当に厄介で後しまつが大変です。ほんと、余計な手間がかかるし泣きます。でも、右の写真をご覧ください。なんと、ガス衣類乾燥機に任せただけでみんな取れちゃいました！

そのままガス衣類乾燥機に任せるだけで……





シンポジウム in 浦河

「馬は理想のセラピスト」2018

～乗馬療育ってなあに？～

日時：11月29日(木) 10:00～12:00
 場所：浦河町総合文化会館 ミニシアター
 主催：NPO法人ピスカリ



『NPO法人ピスカリ』の主催によるシンポジウムに参加しました。日中に開催されたこともあったでしょうか。これまでは毎年100人以上の参加がありましたが、今年の参加はぐっと少なかったのが印象的でした。浦河町が「乗馬療育」の先駆地として20年以上にも渡って取り組んできたにもかかわらずです。「乗馬療育」という貴重な宝物を、もっともっと町のみんなで大切に共有できたらいいのにと思いました。

浦河の乗馬療育は、ここ15年余りの間、乗馬療育インストラクターの江刺尚美さん(現在、NPO法人ピスカリの代表)と理学療法士の小島愛子さんの二人が中心となつて、乗馬が身体と心に与える効果についての理論的な研究にも取り組んできました。今も、「人と馬、地域の

“浦河の乗馬療育”をもっと知ってもらいたい

一度は本当に存続の危機に陥った浦河町の乗馬療育でした。でも、乗馬療育を必要としている人たちの熱意に支えられ、やりがいを持って存続してきた人達がいいます。日々奮闘しながら、今も乗馬療育を続けているNPO法人ピスカリの方々と、もちろん、浦河町も資金応援をして継続を支えてきました。でも、馬産地浦河の大いなる取り組みとして特化するのには、資金も人もまだ不足しているのでは？と感じています。



乗馬療育を利用している方々から、具体的な効果等についても聞かせていただけて良かったです。

共生を目指しながら、日々真摯に浦河の乗馬療育に取り組んでいます。この方々の熱意と愛情があったからこそ今も続けられていられるのではないかと思います。

現在、日本で馬を介した取り組みをしている所は2百ヶ所を超えています。その中でも、他にない内容でトップレベルの乗馬療育を実施しているのが浦河のNPO法人ピスカリです。高齢者乗馬の取り組みについては、今年も海外で発表して世界から注目されました。

3年前の170余名が参加したシンポジウムでは、「馬産地浦河には乗馬療育の分野において歴史がある。行政も関わり、毎日馬を活用している専門の現場がすでにあること。専門的な普及研究も行って来たなど、乗馬療育の環境が整っている理想形であり、その可能性は未知なるものがある。」と専門家の方が評価して応援して下さいました。

浦河の乗馬療育の素晴らしさについて、もっとも町の人に知ってもらって応援の輪が広がると思います。



今年は桜まつりや産業まつりにも出店。PRにも努めています！

マックス



「本の予約」をするお客様の増加に伴い、新刊本の入荷も好調～♪
『森の六畳書房』は浦河町にある本屋です！

六畳書房は、浦河に移住された方々からの大いなる力に支えられながら毎週月曜日の営業が続けられています。店番の櫻井けいさんが、「寒くなると人足が遠のいてしまうのでは？」と心配していた冬がやってきました。でも、大丈夫。私たちの応援で、この本屋を「奇跡の本屋」として浦河で持続させていきましょう。目指すは「成長する本屋」です♪



『森の六畳書房』の本棚には、選書された500冊ほどの本が並んでいます。足を運ぶ人の中には、えりも町など近隣の町の他にわざわざ札幌からも本を買いに来るお客様がいるそうです。大黒座と似ていますね。最近では本の予約注文をしてくれる人が増えたおかげで、月に何度も新刊本を入荷できるようになったきたそうです。「成長する本屋」の希望も持てそうです。うれしいことです♪

努力の結果、今ではほとんどの本の取り寄せが可能になりました。買いたい本は、六畳書房で購入しませんが、急がない本なら、なおのことです。少しでも利用者が増えていったら、浦河で「奇跡の本屋」を持続していけると思います。そう思いませんか？

マックス



故・久住邦晴さんの『奇跡の本屋をつくりたい』の4刷が決定！この本の中で、六畳書房が紹介されています。

雪が降っても「森の六畳書房」に来て下さいね～





アイヌ民族の英雄シャクシャインの新像が9月23日、恒例の法要祭に合わせて披露されました。これが撤去された旧像の戦いに挑む勇ましい顔つきです。(平山先生の横に置いてあるレプリカより)

「コシャメインからシャクシャインへと続く道」

ひらやまひろと

講師 平山裕人 先生(小樽市在住)

寄稿

日時 11月25日(日) 14:00～
場所 新ひだか町公民館

甦るシャクシャイン

知名度は高いシャクシャインですが、その人となりや歩みについては余りよく知られていないのが現実です。新ひだか町で、一昨年に「シャクシャインの戦い」という書籍を出版された平山裕人先生を招いて講演会が開催されました。シャクシャインの生まれるはるか以前からのアイヌの歴史と文化、そしてシャクシャイン一族の興亡と謀殺後のアイヌ社会やそれ以降の歴史等々、大変貴重なお話をお聞きすることができたそうです。参加者のお一人からの寄稿を通じてご紹介をさせていただきます。



なさま
ならず快活
にこだわ
腹で小事
く：太っ
うらいら
（ごうほ
放磊落
が良く豪
でも気風
ずれにし
せん。い
せ。い
は定かではありま
り、真偽のほどは
ていたオニビシ側
す。これはシャク
か町静内に来たと言
まわつての後、山脈
す。長じて弟と共に
第一にシャクシャ
アブラコマで生まれ
まわつての後、山脈
す。長じて弟と共に
第一にシャクシャ
アブラコマで生まれ

興味深かった点を挙げますと、第一にシャクシャインはえりも町アブラコマで生まれたということですが、長じて弟と共に十勝を暴れまわつての後、山脈を山越えしてシベチャリ(染退)こと今の新ひだか町静内に来たと言われています。これはシャクシャインと対立していたオニビシ側の言い伝えであり、真偽のほどは定かではありません。

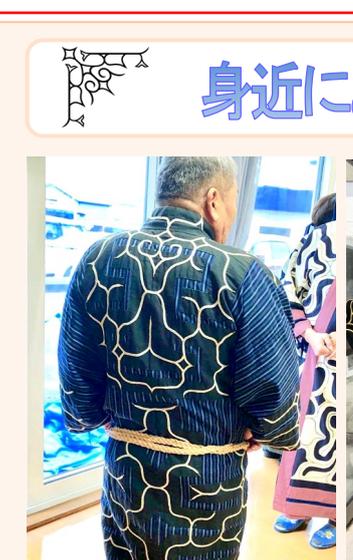
人望を集めたであろうシャクシャインの人物像

11月25日に開催されました平山裕人先生(小樽市立高島小学校)の講演を聞いてきました。聴講に訪れた八十人程の方がテーブル付きで座れる結構広い部屋でしたが、平山先生は終始マイク無しで熱弁を奮われ、そのシャクシャインへの情熱が部屋中を満たしていました。およそ九十分くらいのお話の間ほとんど私語も無く、会場にいた皆さんが、本当に静かに先生の弁舌に聞き入っていました。

で、背丈が異常に大きく容貌魁偉(ようぼうかいい)姿かたちが堂々として立派なさま)だったと言われているシャクシャインが多くのことから人望を集める人物であったことは推測できるだろうと思いをしました。

第二にシャクシャインが和人に対して怒り戦いを起こして最後は和人に騙されて殺されたという史実が、9月に新設されたシャクシャイン新像では全く表現されていないし歴史の改ざんです、とまで言い切っておられたことです。確かに和人とアイヌとの「共生の時代」を表現するのにシャクシャインを題材にするのでは的外れであろうと思われました。

アイヌに有利な商取引も引き出した



マックス

身近にある“アイヌの手仕事”が美しいですよ～！

地域によって違いのある手仕事の手法や文様

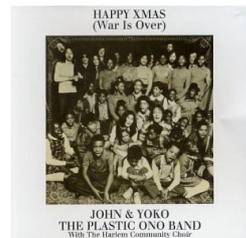
今年の春、町内で美しいアイヌの手仕事の作品と出会いました。以前から興味があったこともあり、とてもうれしかったです。その時のご縁で、自由に手仕事を楽しむ『ネコンネ教室』にも一度だけ参加できました。来年はもっと習いに行きたいと思えます。

10月末に参加した秋の感謝祭「パセオンカムイカムイノミ」では、「チカルカル」と呼ばれる美しい衣装もたくさん見ることができました。色鮮やかな女性の衣装に目を奪われがちですが、男性たちのチカルカルもまた素晴らしかったです。黒地に黄色い刺繍のみが施されているのは三石、左のは浦河のもので、どちらも素敵ですね。

『ハッピー・クリスマス 戦争は終わった』

ジョン・レノン (1940~1980)

私の好きな曲



ジョン・レノンはこの時期（1971年）、アメリカに住み、反戦運動に深くコミットしていた。変化を求める人々を励ます『パワー・トゥ・ザ・ピープル』『ギヴ・ピース・ア・チャンス』といった曲は、運動の中で広く歌われた。暴力と支配のない平和な世界を歌った『イマジン』もこの頃だ。FBIは、アメリカ政府を批判する彼（ジョンは英国人）の動向を監視していた。（「ハッピー・クリスマスを聴くのが苦痛だ」加藤直樹氏より）

ジョン・レノンが殺された1980年12月8日、浦河は夕方から吹雪でした。インターネットもSNSも携帯電話も無い時代。灯油の配送から戻ってきた同僚が教えてくれました。「ラジオのニュースでやっているんだけど、なんか、ジョン・レノンが死んだらしいんだわ。」。ほんの2週間前に5年ぶりのアルバムを発表したばかりで、ジョンは40才でした。わたしは22才。今年還暦を迎えました。時が過ぎるのは早いです。

ジョン・レノンの率直な詩

ジョン・レノンの曲で好きなものはたくさんありますが、『ハッピー・クリスマス』はそのうちの一曲です。『イマジン』もそうだけれど、ジョンの書く詩は率直で分かりやすい。

「クリスマスがやって来た 君が楽しんでることを願う 近しい人も大切な人も お年寄りも若い人も ハッピー・クリスマス肌の黒い人も 白い人も 黄色い人も 赤い人も すべての争いを止めよう…」

今どきは、こんなベタな表現はクールじゃないのでしょうか。冷笑の対象でしょうか。人それぞれでしょうが、わたしはジョンの歌が好きなんです。

す。『ワーキング・クラス・ヒーロー』とか『ゴッド』とか『ラヴ』とか好きですね。

戦争が終わった WAR IS OVER

冒頭に紹介した『ハッピー・クリスマス』についてのコラムで、加藤直樹さんはこんなことを書いています。

この歌が発表される2年前、すでにベトナム戦争は泥沼化していた。徴兵制の下で、数十万のアメリカ人青年が正義のためと、ベトナムでゲリラと絶望的な戦闘を強いられていた。テレビを通じて知る現状に、内心では多くのアメリカ人はうんざりしていた。9月には、一個の小隊が無抵抗の村人500人を虐殺したソンミ村虐殺事件が明るみに出て、大きな衝撃を与える。

その3ヶ月後、ジョンとヨコはニューヨークに巨大な看板を出現させる。「WAR IS OVER! (戦争は終わった)」

戦争が終わっただって？ベトナム戦争が終わったのか？だがその次の瞬間、彼らはその下に小さく書いてある言葉に気づく。「IF YOU WANT IT」戦争は終わる、あなたが本当に望むなら。

「WAR IS OVER! (戦争は終わった!)」の文字

を見た瞬間、人々の胸は高鳴っただろう。自国が行う戦争を支持する人さえ、その瞬間、早く戦争が終わってほしいと思っている自分に気づかされたはずだ。そして、あなたが望めば、という文は、戦争を支え、続けさせている自分たちの責任を想起させるのに十分だった。(同加藤直樹氏コラムより要旨を紹介)

あなたが望むなら IF YOU WANT IT

加藤さんは、残念ながら今も世界中で紛争や戦闘が絶えることがないのに、この曲が漫然とBGMのように街中に流れていることが苦痛だといいます。たしかにそうです。ジョン・レノンが歌の中で願った世の中とはほど遠いです。

それでも、歌や看板で何にも変わらないと冷笑したくはないですね。わたしはこの歌が好きなんです。



オノヨーコとジョン・レノン。レコードジャケットを眺めているだけでも懐かしいですね…

社長

「星空が美しい季節の オペラコンサート」 楽しかったです！



素晴らしいソプラノを披露してくれた川島沙耶さんです。ご自身のブログで「このホール最高！浦河素敵！」と紹介してくれていました。

日時：12月8日(土)
会場：浦河町総合文化会館 文化ホール

12月8日(土)の「星空が美しい季節のオペラコンサート」に行ってきました。楽しかったです。

曲の合間のお話も楽しいし、歌も聴いてみれば「あ、この曲聴いたことある」という曲ばかりだし、歌唱も素晴らしいし本当に良いコンサートでした。残念だったのは、聴衆が少なかつたこと。もったいないなあ、と思いました。誰もが知っている日本の歌も歌ったのですが、事前に分かっていたら母も連れて行ったのと思えました。日本の唱歌とか大好きですから。

うれしかったのは、演者のみなさんが浦河の文化ホールを褒めちぎってくれたこと。昨年初めて浦河を訪れたとき、このホールの素晴らしいさに驚いたのだそうです。SNSにアップした会場の写真を見た音楽仲間の間では、「このホールはどこ？」と話題になったそう。今年も楽しみにして来たそうです。来年も来てみたいと思うホールだと話していました。リップ・サービスもあるかも知れませんが、町民としてうれしかったです。来年も、またぜひ聴きに行こうと思います。

社長



社長にも美味しく作れました



ガスでおいしくクッキング

* 鶏手羽元のトマトジュース煮込み

鶏手羽元をフライパンで焼いて、あとは野菜と一緒にトマトジュースとコンソメで煮込むだけ。これなら簡単でおいしいから、社長にもできるはず！ということで、久しぶりに社長の登場です。なんと、ガスグリル調理器でキャベツのオイル焼きも追加調理してしまいましたよ～。余裕ですね～♪(笑)



いろんな野菜を加えてOK！寒い日に飲むあったか～いスープ、お勧めします♪

●材料 (3人前)

- ・鶏手羽元 … 9本
- ・玉ねぎ … 1/2個
- ・本しめじ … 1/2袋
- ・にんじん … 1/2本
- ・大豆(水戻し済) … 1袋

*セロリを入れてもおいしそう。
具材は色々アレンジしてみてくださいね^^

- ・トマトジュース … 1本(190g)
- ・コンソメキューブ … 1個
- ・水 … 500cc
- ・塩・こしょう … 適量



●作り方 参照 クックパッド こうたろちゃんレシピ

- 1、玉ねぎは1cm幅くらいに切り、にんじんは1cmの角切り、本しめじは小分けに。
- 2、手羽元は軽く塩・こしょうをふり、フライパンで表面に焼き色をつける。
- 3、鍋に手羽元、玉ねぎ、にんじん、大豆らの具材とトマトジュース、水、コンソメを入れ強火に。沸騰したらアクを取り、中火～弱火の間くらいの火力で40～50分煮込む。
- 4、塩・こしょうで味を調える。
*食塩使用のトマトジュースを使う場合、塩はほとんど入れなくてもいいくらいです。



「いただきます～す♪」



ガスグリル調理器を使って調理をすると、野菜など素材の水分だけで調理ができるので、肉はやわらかく、野菜は甘みが増えて色鮮やかに仕上がります。

便利で美味しくできるので、皆さまにもおススメできます。



「マルセイさんは、いつも楽しそうですね^^」とお客様から声を掛けていただきます。こんな風に、食卓をみんなで囲むでの食事風景を毎月お届けしているからでしょうか。「同じ釜の飯を食べた仲間」という言葉がありますが、これってきっと大事なことなのだと思います。(ガス炊飯器ですけど！笑)

これから冬の繁忙期になると、みんなで食卓を囲むお昼時間は増々大切な時間になります。そう、あったかい豚汁や甘酒なんかも良いですね～。今年もあつという間の12カ月が、駆け足で過ぎようとしています。みなさん、ガスでクッキングしてそれぞれの食卓を大切にしてくださいね♥



ガス検針を終えて、ひとりで淋しいと事務所で遅いランチのさっちゃん。おつかれさます^^



鶏手羽肉を焼きながら「おれ、このまま食べてもいいな～」と社長。(笑) 千切りしようとしていたキャベツは、「グリルで焼こうぜ！」と自ら調理。甘くておいしかった～♪

社長のちよっと長いコラム

「マルセイさんの」を調べてから」

夏のある日、ひとりの男性が会社を訪ねてこられました。某社の営業の方で、一週間ほど前に連絡をいただいて会う約束になっていた。地味なスーツ姿で年格好はわたしと同じくらいです。質問の内容は決まっていた、事務的な質問が続き、それに答えていきました。10分もかからないで用件は終わり、男性はお時間をいただきありがとうございますと、お礼を述べられた後、わたしに何年生まれですか?と訊ねてきました。昭和33年ですと答えました。

男性は「わたしもです。」と言いきつと同年だろうと思っていましたと付け加えました。訪問の約束がとれたら、事前にその会社のことを知るようにしているそうです。今回もアポが取れたあとにマルセイのブログを見て、わたしのことやどんな会社かイメージしていたそうです。「わたしも若いころ社長さんが紹介していた本を読みました。」と少しうれしそうに話されました。

何ということもない人生だけれど、それでもいろいろなことがあり、お互い還暦までよく元気で生きてきましたね・とそんなことをわたしは言いました。男性はうなずきながら次のように話し始めました。高校まで北海道で過ごしたあと、本州へ渡ったこと。



いくつか転職したあと、誰もが知っている大きな企業へ勤めたこと。そこでひたむきに働いて、上場企業の管理職までたどり着き、部下が600人だったことなど。

そしてその後、転職がやってきたと。会社は、男性が責任者だった事業の撤退と部署の閉鎖を決定。部下全員のリストラを業務として命じられました。それから、会社を辞めるよう部下を説得する日々が始まりました。家のローンや子どもへの進学があるんだ!と詰め寄られる日々が続きました。ある日、とうとう一人の部下が亡くなりました。自殺でした。

「心底参りました。上司として葬儀を仕切ることは遺族が許してくれませんでした。それでも葬儀には行きました。厳しい言葉を浴びせられました。もつともなことです。しかし、それで終わりませんでした。この一件をわたしの家族が知ることとなりました。以降、子供たちが一切わたしと口をきかなくなり家庭が壊れていきました。」

わたしには返す言葉がありませんでした。男性は続けました。「部署閉鎖の役目を終えて、新しい業務を割り当てられました。でもですね、どうしてもそれが出来ないんです。どうして私だけ会社に残れますか?そんなことしたら本当に自分がこわれちゃいますよ。ムリなんです。家族は行かないというので、ひとりで北海道に帰ってきました。この仕事はアルバイトです。」

「お互いもう少し元気でいきましょう」

いつしかわたしも男性も涙が溢れていました。「お互いもう少し元気でいきましょう。」わたしにはそんな言葉しか出てきませんでした。男性は、マルセイさんのことを調べてから、今日社長さんに会うのが楽しみだったんです、と言って帰られました。

「マルセイさんの」を調べてから・この言葉はわたしには宝物です。* * *さん、どうか良いお年をお迎えください。



さのばわふる日記



今月号もパートのさっちゃんシリーズ。さっちゃんは毎日出勤するのではなく、私がヘルプを必要とする時に登場します。当社の登録作業員です。一番出勤率の多い登録さんです。他にも登録さんが数名いて、困った時には快く出勤し活躍してくれる、ありがたいメンバーです。この方たちに助けられて仕事をこなしています。今月もさっちゃんに助けられ師走を乗り切れそうです。ありがとうございます!

その、さっちゃんが、外回りから帰り、突然、「私は、自信をもって仕事をしていますから」と得意げに指示書を私に差し出しました。その整理をしながら私が「そうそうSさんの灯油の残量はどれくらいだったかな?」と聞くと迷いもなく「四分の三」と即答。「さすが!覚えてるんだね素晴らしいよ。でも、さっちゃんメモには三分の二と書かれていますけど」と指摘する私。「あれれ?どうしちゃったのかな」とおかしな話とほけるさっちゃん。更に、指示書がない。たった今、使っていてメモしたのに:と探す私に「どこやったの、もう一回探したら」と一緒に私の机の山になった書類を探ささっちゃん。

すると笑いながら「ごめん、私がついてたわ」と書類を差し出す。こんななのに最近やたらと「自信もって仕事していますから!」これって、私の習性が伝染したと思われまます。

そんな私も自分が本当におバカだと呆れた事が:お客様Mさんの自振を何度も間違えるという失態。なぜかMさんのばかり。その度に「二度とミスがないように気を付けます」と謝る私なのですが、何度目だ!と言うくらい。心の広いMさんは優しく許してくれますが、このようなミスは許されません。この場をお借りしてM様、本当に申し訳ございません。



こんな私ですが、来年もマルセイ共々、どうか宜しくお願い致します。皆様、お元気で良いお年をお迎え下さいませ。



発行 株式会社 マルセイ

灯油・プロパンガス販売・機器修理
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業

冬季期間(10月~3月) 定休日:日曜・祝祭日 営業時間 8:30~6:00 土曜3:00



編集 おはなし家(マックス) 発行部数 3500部

【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com

【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してください

〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3

TEL 0146-22-5123